登録日 2025/4/8

レジメン名 BRE040

腫瘍名 乳がん

申請医師 乳腺外科

投与スケジュール

				21日毎 × 6コース	
				(6コース投与後、パージェタ、トラスツズマブのみ1年間継続)	
				1コース	2コース
				1	22 ... (Day)
①	デキサート パロノセトロン 生理食塩水	9.9 mg 0.75 mg 50 mL	点滴 15分	↓	↓
②	生理食塩水 (前投薬フラッシュ用)	50 mL	点滴 5分	↓	↓
③	パージェタ 生理食塩水	420 mg 250 mL	点滴 30分	↓	↓
				初回投与量: 840mg、2回目以降投与量: 420mg 初回60分投与、2回目以降30分に短縮可能	
④	生理食塩水 (パージェタ用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓	↓
⑤	トラスツズマブBS 蒸留水 生理食塩水	8 mg/kg 20~40 mL 250 mL	点滴 30分	↓	↓
				初回投与量: 8mg/kg、2回目以降投与量: 6mg/kg 初回90分投与、2回目以降30分に短縮可能	
⑥	生理食塩水 (トラスツズマブ用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓	↓
⑦	ドセタキセル 5%ブドウ糖液	75 mg/m ² 250 mL	点滴 60分	↓	↓
⑧	カルボプラチン 5%ブドウ糖液	AUC 6 250 mL	点滴 60分	↓	↓
⑨	生理食塩水 (カルボプラチン用フラッシュ)	50 mL	点滴 5分	↓	↓

注意事項

・術前または術後に6コース実施後、
③と⑤のトラスツズマブ、パージェタを3週毎に1年間継続投与する。

- ・病理結果にてHER2蛋白陽性者に限る。
- ・投与対象とするEF値の基準は、原則、EF $\geq$ 55%を目安とする(臨床試験の登録基準や適正使用ガイドを参考)。
- ・パージェタ及びトラスツズマブは、初回投与の認容性が良好であれば、2回目以降の投与時間は30分間まで短縮できる。
- ・心機能を確認する(適正使用ガイド参照)。
当院の心エコー・心電図検査プロトコルを参考とする。
- ・投与延期してから再開する際の用量
パージェタ : 前回投与から6週未満 ⇒ 420mg、前回投与から6週以上の場合 ⇒ 840mg(次回以降420mg)
トラスツズマブ : 前回投与から6週未満 ⇒ 6mg/kg、前回投与から6週以上の場合 ⇒ 8mg/kg(次回以降6mg/kg)

参考文献

1) Eur J Cancer, 89, 27-35 (2018).
2) 乳がん診療ガイドライン2022年
3) 添付文書(パージェタ2024年11月改訂版、トラスツズマブ2024年12月改訂版、ドセタキセル2024年6月改+A18:F35訂版、カルボプラチン2025年1月改訂版)